

超高齢社会に向けた医療と 介護の連携の推進

団塊の世代が後期高齢者となる2025年以降、医療や介護の需要がさらに増大することが見込まれます。この超高齢社会に向けて、医療ニーズを持つ高齢者であっても、住み慣れた地域で最後まで自分らしい暮らしを続けられるよう、地域で在宅医療・介護を一体に提供できる体制を構築することが重要です。介護保険法では、医療・介護連携を進めるため、市区町村の新たな地域支援事業の中に「在宅医療・介護連携推進事業」が位置付けられており、2018年4月までに全市区町村で8項目の事業すべてを実施することが求められています。

本研修では、各市区町村が地域の特徴を活かし、また課題を補って、どのように在宅医療・介護連携推進事業に対応するのが良いかを考えます。

開催要領

日 程 平成29年5月31日(水)～6月2日(金) (3日間)

場 所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象 高齢者福祉や高齢者が安心して暮らすための施策に携わる市区町村等の職員
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますので留意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数 40人
募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費 10,500円
上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成29年4月19日(水)まで
※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については、柔軟に対応します。

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。
「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。
詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

TEL 077-578-5932 FAX 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <http://www.jiam.jp>

[研修の内容及び日程]

5/31
(水曜日)

- 11:00～ **入寮受付・昼食**
- 12:30～ **開講・オリエンテーション**
- 13:00～15:35 **【講義】超高齢社会にむけて、高齢者が安心して暮らせるまちづくり
～医療と介護の連携～**
東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫 氏
老いても住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けられるまちづくりを進めるために、特に地域包括ケアの最大の課題である医療との連携の強化の重要性と、市町村が今、何をすべきかをお話しいたします。
- 15:50～18:00 **【演習】グループ討議①(自治体の現状・課題把握と在宅医療・介護連携の目的・目標)**
東京大学医学部在宅医療学拠点 特任研究員 松本 佳子 氏
受講者との情報・意見交換を通じて、地域の医療・介護の現状の特徴や課題を明確にし、各地の特性に合わせた在宅医療・介護連携の目的・目標を考えます。
- 18:00～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

6/1
(木曜日)

- 9:00～15:10 **【事例紹介】市町村における医療と介護の連携推進**
※事例報告者と受講者の意見交換会を含みます。
～千葉県栄町～ 千葉県栄町健康介護課医療介護連携室
人口約2万人。消防(救急隊)との連携構築や情報共有ツール(ICT)導入への挑戦など、限られる資源や場を有効に活用しながら地域の多職種をつなげるユニークな取組みについてお話しいたします。
～静岡県掛川市～ 静岡県掛川市地域医療推進課
人口約12万人。医療・保健・福祉・介護の在宅支援の地域拠点として機能する「ふくしあ」の取組みと、異なる組織間の連携や、多職種連携を円滑に推進する行政職員としての役割についてお話しいたします。
～千葉県柏市～ 千葉県柏市地域医療推進室
人口約40万人の中核市。全国に先駆けて医療・介護多職種連携の枠組みを構築した柏市から、医師会との関係づくりを含む柏プロジェクトの経緯、および現在「第2フェーズ」として進行中の取組みや直近の課題意識について、本音でお話しいたします。
- 15:20～17:00 **【演習】グループ討議②(地域の実情に応じた医療・介護連携体制の構築)**
東京大学医学部在宅医療学拠点 特任研究員 松本 佳子 氏
地域の医療・介護の関係機関の連携体制をどう進めていくか、受講者同士の意見交換を通じて、枠にとられない新しい手法や独自の取組みの着想を目指します。
- 17:00～ **【課外演習】個人ワーク・グループ討議**

6/2
(金曜日)

- 9:25～12:00 **【演習】発表、質疑応答、講評** 東京大学医学部在宅医療学拠点 特任研究員 吉江 悟 氏
課外演習の内容を受講者全員で共有します。また、地域の実情に合わせた在宅医療・介護連携推進のために、第7期介護保険事業計画をどう策定していくか、考察を深めます。
- 13:00～14:10 **【演習】総括講義とふりかえり** 東京大学医学部在宅医療学拠点 特任研究員 吉江 悟 氏
地域における医療・介護の連携の重要性と、連携体制の構築のための市町村の役割について総括講義、及び本研修のふりかえりを行います。
- 14:10～14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**